



NPO法人 「認証者数 9/1現在 286人」

茨城県防災士会 だより

発行日：2022年9月25日

発行元 特定非営利活動法人

茨城県防災士会

責任者 理事長

加瀬 孝雄

## 令和4年度第3回理事会報告（8月6日実施）

第3回理事会が8月6日（土）に開催されました。以下の内容の議事が行われました。

（日時・会場）2022年8月6日（土） 13：00～・水戸市桜川市民センターからZoom会議に変更実施

（参加者）理事会メンバー出席者：9名・オブザーバー出席者：3名

（以下議事次第）

### I. 理事長挨拶・報告等

### II. 議題（議長：加瀬理事長）

1. 理事会議事録署名人について

2. 令和4年度 茨城県防災士会 組織体制

3. 外部関係

（1）日本防災士会から

（2）茨城県 防災・危機管理課より「いばらき防災大学開講！が9/23, 10/8, 1/15日に水戸市で開催

4. 各部報告事項

（1）総務部 会員数報告

（2）広報機関紙部 ホームページ運用ガイドライン（案）について  
「広報第37号」の発行予定

（3）経理部 令和4年度 各種講演会等活動状況について

令和4年度 7/25現在、年会費納入状況について

（4）事務局 令和4年度 管理事業 実施状況について

令和4年度 事業について

（5）企画研修部 令和4年度 各種講演会等活動実施報告

（6）女性部 令和4年度「女性部研修企画（案）」について

5. 新規会員・退会の承認について

（1）令和4年6月4日現在、承認会員数：284名

（2）新規会員；4名、退会者；2名

6. その他

7. 令和4年度 第4回理事会 水戸市桜川市民センターにて 10/1開催予定

（午前10時：理事会、午後1時30分：講師認定試験7名受験）



### 再掲 救命講習の実施へ（会員増対策）

いばらき防災大学講座終了後は、防災会入会者が多く見受けられたが、昨年度は皆無であった。この要因は、大学講座から「救命講習」が除外されたことで、講習会修了後も資格取得が出来ないことであった。これを踏まえ、令和4年度防災大学講座からも同様な措置が見込まれることで、当防災士会としてその対応策を講じることを決めた。

具体策として、水戸地区救急普及協会の会員となり、水戸市周辺にて「救命講習」を開催して、防災大学受講の防災士資格の確保に向け準備を進める。

（2022年2月26日理事会、承認事項）

### いばらき防災大学開校 水戸会場

いばらき防災大学の開校通知を受け、当防災士会の担当分野として、10月8日「気象庁ワークショップ」と、10月15日「防災士の役割」講演を担当へ。気象庁ワークショップの実施には補助要員必要につき講義補助の応援要請を行うので、対応方願いたい。



（企画・研修部）  
左；2019年7月  
鹿嶋会場風景  
2019年から本  
ワークショップ  
が始まり、当  
防災士会参加。

ホームページのご活用を！

<https://i-bousaishi.jp>

## 対外活動（各地の講演会等）記録

### 令和4年度第1回県北エリア会議

### <県北エリア会議 災害時のトイレについて>

実施団体：茨城県防災士会県北エリア  
 開催場所：常陸太田市水府総合センター  
 開催日時：令和4年7月17日  
 担当防災士等：県北エリア防災士15名  
 内容：令和4年度第1回県北エリア会議  
 ①茨城県防災士会の活動報告  
 ②災害時のトイレについて  
 ・簡易トイレの使用方法について(各家庭の排せつ物の量を知る)  
 ・固形パウダー、シートの使用方法(それぞれの特徴) ・簡易トイレの種類と使い方  
 ③ 会員の活動状況 ・村木防災士から町内の「防災かわらばん」の紹介



### 令和4年度現代的課題対策講座（第3回）

### <要配慮者救出について協議、グループ発表>

実施団体：茨城県県西生涯学習センター  
 開催場所：同上（筑西市野殿1371）  
 開催日時：令和4年7月30日  
 担当防災士等：県西地区防災士4名  
 内容：シミュレーションで防災を学ぼう  
 ①DIG(災害図上訓練)の第一段階について講話  
 「災害図上訓練の目的と手法について」  
 ②DIGの第二段階(身近な災害対策を考える)を体験学習  
 5グループに分かれて「災害発生時要配慮者の救出」について最優先順位を決める体験学習③グループ内のまとめ 「自助」「近助」「共助」についてグループ毎発表



### 親子で学ぶ防災教室

### <DVD視聴視聴と解説、防災クラフト>

実施団体：茨城県県西生涯学習センター  
 開催場所：同上（筑西市野殿1371）  
 開催日時：令和4年8月7日  
 担当防災士等：県西地区防災士3名  
 内容：親子で学ぶ防災教室  
 小学校高学年の親子10組(20名)が参加し、親子で防災について学んだ。防災士会で所有するDVDを視聴し、自ら身を守る大切さを伝えた。また、身近なもので作ることができる防災クラフトを実施し、非常時の創意工夫について伝えるとともに、日常から防災を考える大切さを伝えた



### 令和4年度第1回県南エリア会議

### <オンライン会議との並行開催>

実施団体：茨城県防災士会県南エリア  
 開催場所：つくばカピオ及びZoomにてオンライン会議  
 開催日時：令和4年8月27日  
 担当防災士等：会場参加9名、オンラインWeb参加4名  
 内容：令和4年度第1回エリア会議  
 総会及び理事会からの報告(組織体制について)  
 小野川小学校防災教室(7/5実施)の報告  
 その他、会員からの情報提供



## 今後の各種講演会の予定

開催予定日	要請団体等	講演内容	開催予定日	要請団体等	講演内容
10月8日	茨城県防災・危機管理課	令和4年度 茨城県ぼうさい大学	11月2日	茨城県社会福祉協会	避難所運営ゲーム訓練
10月15日			11月20日	八千代町中央公民館	ふれあい教室(令和4年度女性学級11月定例学習)
10月30日	古河市消防防災課	地域自治組織を対象としたDIG訓練	11月27日	下妻市消防交通課	下妻市消防訓練

\*今後の各種講演会へ参加希望の方は、当該エリア長にお申し出ください。

「9月1日は防災の日 情報収集、早めの行動」

水害から命を守る行動について 【茨城新聞9月1日版 染谷吉明エリア長 文筆】 紹介

9月1日は 防災の日

情報収集、早めの行動

水害から命を守る

防災士に聞く

茨城県防災士会職員エリア長の染谷吉明さんに水害の心構えや避難のポイントなどについて聞いた。染谷さんは情報収集を怠らず、自分のことは自分で守る自助の意識を持って、早めの行動を呼びかける。隣近所の方にも声を掛け、早めの避難を呼びかけてほしいと語る。

大層により川が増水し水位が上昇、川から水があふれると、街や田畑、平地などが広範囲に浸水する（外水氾濫）。大きな河川だけでなく、中小河川や水路などの氾濫に気を付けたい。と染谷さん。大雨が降っていると、川や田畑、用水路の様子を見に行くと、は絶対に「ないで」と強い口調で話す。川や水路の近くにはいないから

緊急時の備え

リアルタイム 地震などの突発型の災害に比べ、インターネットやテレビ、ラジオから情報を収集し、大雨や台風の情報や事前に状況を把握できる。気象庁や国土交通省、県や市町村などが災害気象情報を発信しており、インターネットでは雨雲の動きや河川の水位の上昇などがリアルタイムでわかる。情報を基に、早めに備えることが被害の防止や軽減につながる。家屋対策 大雨や強風の前に、

屋根の破損や窓のひび割れなどを確認する。排水口や開閉、雨どいは物やゴミが塞がないようにする。風で飛ばされそうなものは固定する。かまのなかへしま。室内から窓ガラスが飛散防止フィルムを貼る。自宅避難する場合は想定し、毛布・寝袋、災害用調理器具、食料、水、簡易トイレなどを確保する。 平常時の備え 防災避難計画 ハザードマップ

平常時の備え

避難避難計画 ハザードマップ

避難時のポイント



避難するときは、夜間は避け、明るいうちに行動する。単独ではなく二人以上での避難が望ましい。

リュックサック

荷物は両手を使えるようリュックサックに入れる。浮き具になる。

かさや杖

かさや杖があると障害物をよけたり、足元を確認できたりする。

服装

動きやすい服装に着替える。

長靴よりスニーカー

水が入って歩きにくくなるので長靴は履かない。履きなれたスニーカーなどの動きやすい靴で移動する。

水の中を歩くのは思っている以上に体力を消耗する。流れがあると足元をすくわれないこと。染谷さんは「高齢者は体力を消耗しないこと」とアドバイスする。水位が上昇するなど避難が難しい場合は、2階以上や少しでも高い、安全な場

所に避難する（垂直避難）。新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、分散避難が推奨されている。避難所の密集を避け、安全が確保されている知人や親類の家、民間宿泊施設などの利用も考える。

非常用持ち出し袋を用意しよう

日頃から非常用持ち出し袋を用意しておきたい。日ごろ使っている財布や携帯電話、家・車のカギなどともに持ち出そう。ミルクや母乳、紙おむつなど、乳幼児や高齢者など家族や個人の事情に合わせて準備する。災害や期間によっても変わるが、いざというときにまず持ち出したい主なものは次の通り。



食料品

飲料水・非常食 飲料水のペットボトルは2歳1本より200ml以上4本と小分けの方が飲みやすく衛生的。

生活用品

タオル・ウェットティッシュ・マスク・ティッシュペーパー・手指消毒用アルコール・口腔ケア用品・生理用品・着替え・救急医薬品・体温計・持病の薬・お薬手帳のコピー・懐中電灯・ごみ袋・雨がっぱ・軍手など

貴重品

現金（小銭も用意）・通帳・印鑑・健康保険証のコピーなど

情報収集に使う

携帯ラジオ・携帯電話・充電器・モバイルバッテリー・乾電池・筆記用具など

その他

防災ずきん・ヘルメット・使い捨てカイロ（冬）・冷却シート（夏）・ヘルメット・簡易トイレなど

避難促す根拠に活用

地域の防災力向上を推進する自治体は、自助会や学区単位の防災計画作成に参画支援する。防災士になって4年の染谷さんにも協力に活動する。水戸市城東地区は那珂川が田んぼの先だ。一昨年、この地区で水害に遭った記憶がない。2019年10月の台風19号で川の水は堤防を越えなかった。



防災士の染谷吉明さん

流域雨量指数

そのため、大雨警報が出て、水害はないと安心して避難しない人が一定数いる。特に高齢者が目立つ。そういう人たちがいかに避難させるかが課題。一昨年、河川改修や堤防整備が進み、川の状況は変わってきている。これまで被害がなかったからと言って、次も大丈夫とは限らない。正確な雨量指数を指標とする。 上流で多量の雨が降ると、時間差で、下流では雨が止んだり増水したりしている。増水の危険は高まる。そこで気象庁の「流域雨量指数」の活用を考えた。川の上面に降った雨によって、どれだけ下流の対象地点の洪水危険度が上がるかを把握する指標。洪水警報や注意報の判断基準、「洪水予報」に用いられる。「過去の経験だけでなく、指標を根拠に早めに避難するよう促す」と話す。

エリア通信（エリアの動き等）

Table with 2 columns: Area (e.g., 県北, 県南東) and Area Chief (e.g., 福地 壽之, 澤田 孝一). It lists membership numbers and lists of municipalities within each area.

## NPO法人茨城県防災士会 役員・エリア責任者名簿

	役職名	氏名	住所	電話番号(携帯)
役員	理事長	加瀬 孝雄	水戸市住吉町15-3	029-248-1097 (090-2202-5737)
	副理事長	安東 正好	筑西市市野辺564-11	0296-24-0871 (090-1800-7631)
	副理事長	横田 信子	稲敷郡阿見町荒川本郷2801	029-842-6540 (090-2526-1910)
	専務理事	田中 寿	取手市井野2-3-30-204	0297-73-5855 (090-5195-6963)
	理事	小川 欽也	日立市森山町1-9-9	0294-53-7620 (090-1737-0010)
	理事	澤田 孝一	龍ヶ崎市藤ヶ丘4-7-53	0297-75-6054 (080-7006-3917)
	理事	福地 壽之	常陸太田市高貫町1058-3	0294-74-2007 (090-2679-3444)
	理事	松井 秀夫	土浦市桜ヶ丘町45-18	(090-5429-9063)
	理事	永倉 喜代	つくば市豊里の杜1-27-5	029-847-1268 (090-5399-8159)
	監事	斉藤 理吉	水戸市赤塚1丁目400-4	029-252-0756 (090-2443-7115)
	監事	若林美智子	つくば市竹園2-3-24	029-856-6333 (080-7025-2841)

エリア長	県北	福地 壽之	常陸太田市高貫町1058-3	0294-74-2007 (090-2679-3444)
	県央	染谷 吉明	水戸市城東1-12-32	029-225-0667 (090-8583-8188)
	県南央	松井 秀夫	土浦市桜ヶ丘町45-18	(090-5429-9063)
	県南東	澤田 孝一	龍ヶ崎市藤ヶ丘4-7-53	0297-75-6054 (080-7006-3917)
	県南	長屋 和宏	つくば市妻木798-11	(090-8105-0342)
	県西	矢野 靖彦	古河市女沼1743-13	0280-92-4228 (090-7187-2434)

### 専門部局・役職名・氏名(2022.9.25現在)

事務局	局長	横田 信子	広報・機関誌部	部長	田中 寿
	次長	福地 壽之		副部長(広報)	吉田 淳
総務部	部長	安東 正好	副部長(ホームページ)	渡辺 直樹	
	副部長	矢野 靖彦		経理部	部長
企画・研修部	部長	小川 欽也		副部長	野澤 明弘
	副部長(企画)	松井 秀夫	女性部	部長	永倉 喜代
	副部長(研修)	岡野 博		副部長	寺門 淳子
	副部長(地区防災)	荻野 悦男			
	副部長(特命)	染谷 吉明			

#### 防災士会からのお願い

#### 会員資格と年会費の扱いについて

年会費の納入は、通常総会議案書時に振込票を同封してお願いしておりますので、手続き方お願いします。なお、「当該年度の会費を8月末日までに納入しなかった者は休会とする」と以下にて定められています。

1. 当該年度の会費未納者は「休会」とする。休会扱い期間は当該年度1年とする。
2. 二年度、連続しての未納会員は、退会届出の有無に関わらず連続した2年目の年度末に「退会」扱いとする
3. 「退会」の方から年会費納入が確認され次第「復会」とする。

#### 市町村防災ご担当の皆様へ

NPO法人茨城県防災士会は、各種の防災講演会、研修会の講師派遣、DIG(災害図上訓練)、HUG(避難所運営ゲーム)、防災マップ作成などの指導を行っております。

講師の依頼等ご相談がありました場合は、下記までご連絡ください。

担当理事：小川 欽也(企画・研修部長)

☎：0294-53-7620 (090-1737-0010)

住所 〒316-0025 日立市森山町1-9-9 E-mail: ogawak012000@yahoo.co.jp